

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はびりすぽと（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月3日 ～ 令和6年 12月16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和6年 11月16日 ～ 令和6年11月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数制なので個別支援、又は小集団活動など利用児童に合わせた支援をおこなっている。	半年に1度、児童の評価を基に保護者を交えての面談を行い、支援内容を確認している。また、週に1回のミーティングを行い支援内容の確認を職員間で行い、共通の支援ができるように取り組んでいる。	ご自宅や園での様子、評価結果を基に支援の見直しを、保護者面談以外でも定期的におこなっていく。
2	支援の様子や、日頃の様子などの情報を発信、ご家庭での困りごとに対して行動分析を行っている。	ブログを週に1度更新し、1週間の子どもの様子を配信している。行動分析的な関わり方の提案を行ったり、家族支援も行えるように、行動分析の研修を受けている。	こどもたちの変化や様子などを、保護者の方に伝え、家庭での困りごとに対して助言をおこなえるよう研修を重ねていく。
3	アレルギー対応やヒヤリハットの情報共有、KYT訓練など安全面に配慮した研修を行っている。	面談の際に、アレルギーの確認を行い、職員に共有している。また、事故とヒヤリハットの集計を毎月出し、各部署間での情報共有をしている。その他にも、毎月のエビベン訓練やAED訓練を行い、どの職員も対応できるようにしている。避難訓練も実施している。	事故に繋がらないように、それぞれの職員がヒヤリハットの意識を持って、子どもと関わる。また、現在行っている訓練を継続して取り組んで行く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、きょうだい同士で交流する機会が少ない。	コロナ等で、色々なイベントの開催が難しかった。	今後は家族との交流の場になるイベントを開催を検討していく。
2	地域交流が少ない。	地域の行事に参加するための準備(保護者や児童への意思確認等)ができていなかった。	地域の行事に参加し、児童にとって色々な経験をすることで、地域交流に関心を持ってもらえるよう取り組む。屋外療育の際はプライバシー保護を重視しながら進めていく。
3	地域にセンターがないため、第三者の立場の方から意見を聴く機会が少ない。	離島ということもあり、センターがなく専門的な知識を持った職員と対面で交流する機会が設けにくい。	様々な職種の職員を配置し、子どもの様子を把握できるようにし、センターの役割を担うような働きかけを行っている。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	はびりすぽと 放課後等デイサービス
------	-------------------

公表日 令和7年 2月 12日

利用児童数 R7年 2月 8日 35

回収数

23

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21		1	1	拝見したことがないので、すみません。	遊具の設置方法などを工夫して、広く使用できるようにしたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17		1	5	拝見したことがないので、すみません。	法延で定められた職員数で対応していますが、今後は増員をしてより手厚い支援の提供ができればと考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22			1	拝見したことがないので、すみません。	はびりすは学習室や遊戯室を含め、全てバリアフリーです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	22			1	拝見したことがないので、すみません。	児童に合わせた環境調整を行います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			2		ホームページやブログで好評している支援プログラムを基に、個々に合わせた支援も取り入れ支援を行っています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1				半年に1回の面談時に、自宅や学校の様子を何うと共に評価を用いて個別支援計画を作っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			2		放課後等デイサービスのガイドラインに沿って個別支援計画を作成しています。個別支援計画の振り返りと共に保護者からの意向を確認し、目標や支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		1		活動プログラムの選択を増やしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	3	5	別になくても良いと思っています。	普段の生活の中で交流があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	3		2		今後機会を増やしていく予定です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1		1		ノートで利用時の状況記載しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	14	5	1	3		保護者参加の行事を予定しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1		保護者の方やお子様からの相談や申し入れに対して、電話、またはofficialLINE等で迅速に対応できるよう心がけております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22		1			連絡ノートへの記載・電話・LINEofficialを利用し、情報伝達をおこなっています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	2		2	HPは随時更新、業務に関する自己評価の結果も掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2		2	発生を想定した訓練を行った際は、都度officialLINEにて通知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	1		事故や怪我等があれば必ず保護者の方へ連絡し、発生した状況等の説明をおこなっています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	1		それぞれ皆が楽しめるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はぴりすぽてと 放課後等デイサービス			公表日		令和7年 2月 12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	リハ室が狭いと感じる。	遊具の設置方法などを工夫して、広く使用できるようにしたいと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			共通理解をより行いたい。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	わかりません。不明。	移行が必要があるか調査する。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	主に個別をメインに行い、時々遊びの中で集団になることがある。	事前にこどもたちの状況などを把握し、適した内容の集団活動を提供する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	できている時とできていない時がある。事前の役割分担はしっかり決めていなが、臨機応変に行うことができている。	支援前の打ち合わせで支援内容、子どもの関りを共有する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		各自日々、週1回全体。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	わかりません。不明。	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供は日々支援の中に組み込むことができているが、地域交流の機会は少なく、今後増やしていきたい。また職員にも周知していただきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		高学年、中高生。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	わかりません。	就学前に移行支援シートを作成し、情報共有と相互理解に努めている。移行支援シートを作成する際に職員にも周知しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		事例無し	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	児童発達支援センターなし。今後行っていく段階(サランセンターなど)	機会があれば参加する。スーパーバイズやが必要な時は、離島のコーディネーターに相談する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	学校、園に通っている。他の子ども活動の場はないと感じます。	普段の生活で交流もある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	理事長参加。	知名町は参加しているが、和泊町は出来ないので機会があれば参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		引き続き、保護者が理解できるように説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	面談に出たことがないのでわかりません。	面談時に、ご家庭・学校での困りごとなどを聞き取り、助言と支援を行っている。面談に出たことのない職員には経験を積んで参加してもらっています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4		保護者がオープンに参加できる機会を検討中。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		限られた地域住民の方（民生委員）に訪問していただいている。地域の方々の参観等を受け入れていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		事例無し。対象となる児童がいないため細かいことを決めていない。	